

ICTによるソーシャル・イノベーションの実現

早稲田大学アジア太平洋研究科 三友仁志

現状:

- ・社会経済の閉塞感からの脱却
- ・ICT利活用からの飛躍

条件:

- ・ICTが提供するものは、「ソリューション」提供のためのプラットフォーム
- ・ソリューションの対象となる「問題(課題)」は何か
- ・便益(利益、利便)の共有
- ・必要なのは「しくみづくり」
- ・「しくみ」における優位性をICTが発揮
- ・従来の枠組(「常識」「時間」「地域」「分野」...)にとらわれない

将来:短期と中長期の2つの視点

短期:プロセス・プロダクト・サービスのイノベーション

- ・技術より「価値」創造のビジネスモデル構築
 - △ 技術重視のモノづくり
 - ⇒旧来市場を前提、国際比較優位は短命
 - ◎ しくみづくり(コトづくり)
 - ⇒新しい市場の創出、国際優位の確保
- ・ネットワーク×機器×アプリケーション 各レイヤーの融合
- ・Industrial Internet
(産業革命、インターネット革命に続く第3の革命)

中長期:新しい産業の創出

社会構造の変化

(ソーシャル・イノベーション)

社会実験から社会実装を前提とした政府プロジェクトの実施

- ・民間ビジネスになりうることを肝要
- ・政府の役割は最初の成功事例づくりのサポート
- ・成果評価制度の導入
- ・普及の後押し

教育文教のイノベーション

- 沖縄県宮古島市校務支援クラウドシステム

- 総務省「ブロードバンド・オープンモデル実証実験 (小・中学校教員の事務軽減支援)」の実施(H.22)
- 地域の教育における問題(課題)解決
⇒校務支援システム
- 導入に伴う困難(費用)の解決⇒クラウド
- 小中学校全35校にクラウドによる校務支援システムを導入(H24.4)
- 同システムはNTT西日本によってビジネス化
- 中小自治体でも校務支援システムの利用が可能に
⇒地域の枠を超えた相乗効果



- 「本のない図書館」

- 電子書籍による図書の貸し出し
- クラウドで提供すれば、地域に関係なく書籍を貸し出し可
- 学校図書館と地域図書館との連携
- 地域アーカイブの発信
- 図書館に行く必要がなくなる⇒社会的弱者への貸し出しも容易に